地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！

うぉーみんぐ

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

No.55 新春

エコ縁日コーナーの様子（関連記事P.2,3）

いいなと思う温暖化対策を狙って「的当て」（関連記事P.7）

省エネ相談所で断熱体験（関連記事P.7）

contents

2・3 特集
市民に身近だからこそ届く！
市町村によるCOOL CHOICE啓発
舞鶴市の事例

4・5 報告します！
夏休み省エネチャレンジ2017

6 第8期　地球温暖化防止活動推進員
府内各地で活躍中！

7 活動レポート

8 お知らせ
新しい掛け軸型展示ができました！
貸出できます。

京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人　京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

特集 feature

市民に身近だからこそ届く！市町村によるCOOL CHOICE啓発

舞鶴市の事例

今年度、舞鶴市では、温暖化対策で豊かな地域づくりを目指して、COOL CHOICEを掲げた様々な取組が行われ、京都府地球温暖化防止活動推進センター（以下、当センター）も協力させていただきました。COOL CHOICEとは、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策につながる「かしこい選択」をしていこうという国民運動。COOL CHOICEを広めるために舞鶴市が行っている、多彩な取組事例を紹介いたします。

地元FMラジオから情報発信！COOL CHOICE情報コーナー

コミュニティラジオ局FMまいづる（77.5MHz）の番組の中で、全10回にわたって「COOL CHOICE情報コーナー」を発信。各回15分程で番組内のゲストとして、様々な分野の方にお話しいただいています。出演者には地元舞鶴の方々も。

まいづる環境市民会議の森脇浩さんからは、会の活動紹介やご本人が活動されるきっかけとなったお話など。市内で海産物の加工卸業を営んでおられる嶋田善文さんからは、舞鶴の魚を食べることが温暖化防止につながるというお話を。市内でLPガスなどの販売をされている森下卓男さんからは、省エネにつながる、かしこいお湯の使い方などをお話しいただきました。

みなさん、趣味やお仕事などを通して、身近なところから温暖化防止につながる活動をされておられます。大変興味深く、ためになるお話を伺うことができました。このコーナーは1/27が最終です（土曜14:15頃から。インターネットで放送を聞くこともできます。http://775maizuru.jp/）。

循環バスが、走りながら温暖化防止を啓発！ラッピングバス

市内を走る京都交通（株）の循環バス2台に、未来をになう子どものかわいい写真と、COOL CHOICEのイメージキャラター「君野イマ・君野ミライ」のイラストをラッピング！地元を走り回りながら、COOL CHOICEを宣伝してくれています。

自家用車の代わりにバスや鉄道などの公共交通を使うことは、温暖化防止につながります。

ぜひこのCOOL CHOICEバスにもご乗車ください。2月末まで運行しています。

まいづる環境フェスタ 2017 にて COOL CHOICE を PR 11/12（日）

毎年多くの人で賑わうこのイベントも（今年の入場者数は約2万人）、今年はCOOL CHOICEが前面にうちだされました。同時開催のまいづる赤れんが地場産市場では、地元産の野菜や、解禁になったばかりのカニを使ったグルメなどを販売。お店の看板にもクールチョイスマークが入っており、「地元の旬のものを食べることは温暖化防止につながる」ということをPR。ゴミを増やさないように、繰り返し使えるリユース食器も使用されていました。

他にも、まいづる環境市民会議のみなさんが自転車発電や手回し発電などを使って、楽しく省エネをアドバイス。再エネコンシェルジュのブースでは、コンシェルジュの紹介やソーラーハウスの工作体験。フードマイレージが学べる買い物ゲームのブースもありました。

「エコ縁日コーナー」も大賑わい。縁日に見立てたブースで、多くの人に楽しくCOOL CHOICEをお伝えできました。

的当てでは、いろいろな温暖化対策が書かれている的を狙って倒すと、そこには「COOL CHOICE」のロゴが。「自分がイイネと思う対策を選んで倒してね」と言うと、小さな子どもでも真剣に考えてくれていました。

また、COOL CHOICEのイメージキャラクター「君野イマ・君野ミライ」のイラストや、舞鶴の風景などが入ったシールに、自分の顔を入れることができるオリジナルシールも作成しました。シールには、暮らしの中のさまざまなCOOL CHOICEの方法が書いてあり、家の中に貼って、家族みんなが取り組めるようになっています。

舞鶴市ではこのような多くの人にCOOL CHOICEを知ってもらうための企画に加え、事業所向けに地球温暖化をめぐる産業界の動向を伝えるためのセミナー、高齢者向けに健康と省エネの学習会、高校生向けに温暖化学習教材の作成など、各々の世代や関心に合わせた勉強会や教材作成なども行っています。

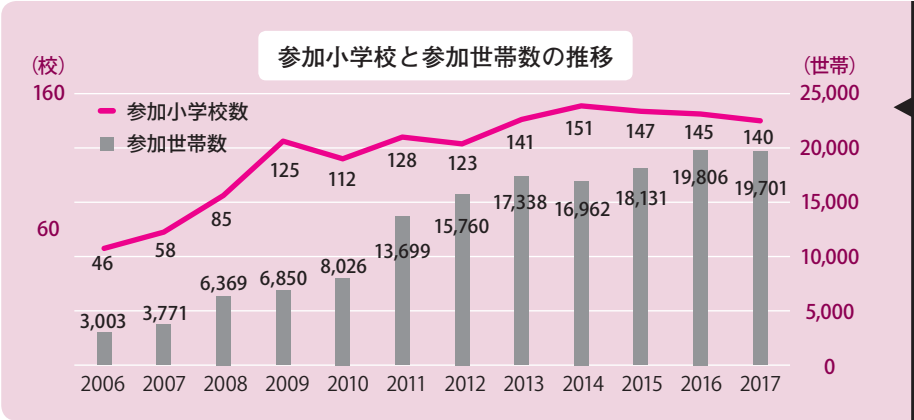
この事例のように、地元に密着した素敵な啓発が広がるといいですね。

報告します！

夏休み省エネチャレンジ2017

今年度も京都府からの委託を受けて、小学生とその家族が夏休みの1週間省エネに取り組む「夏休み省エネチャレンジ」を実施しました。2003年から始まり15回目の今回は、パリ協定や、再生可能エネルギーなど、将来の脱炭素社会づくりを見据えた内容も盛り込みました。

ここでは、結果報告と参加した児童や保護者の感想をご紹介します。



参加世帯数

19,701世帯

学校参加数

140校

広報にご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

2017年12月9日
「学校参加キャンペーン」表彰式を開催しました

夏休み省エネチャレンジにおいて、参加率の高い小学校を優秀校として表彰する「学校参加キャンペーン」を実施。環境フェスティバル2017のステージイベントで表彰式を行い、京都府知事からの賞状と、特賞として企業から環境学習教材が贈られました。

優秀校（参加児童率）

児童総数100人未満の部	綾部市立東綾小学校、綾部市立西八田小学校、綾部市立東八田小学校、綾部市立物部小学校、宇治市立笠取第二小学校、亀岡市立本梅小学校、木津川市立恭仁小学校、京都市立花背小学校（参加児童率100%）
児童総数100人以上200人未満の部	綾部市立豊里小学校（参加児童率97.6%）
児童総数200人以上300人未満の部	井手町立井手小学校（参加児童率100%）
児童総数300人以上500人未満の部	木津川市立城山台小学校、長岡京市立長岡第三小学校（参加児童率100%）
児童総数500人以上の部	大山崎町立大山崎小学校（参加児童率98.4%）

五十音順

特賞受賞校

優秀校が複数の場合は抽選で決定

エスペック賞／ゴーヤ先生の授業とみどりのカーテン　綾部市立東綾小学校
大阪ガス賞／燃料電池実験セット　井手町立井手小学校
京セラ賞／太陽光発電体験キット　綾部市立豊里小学校
ケニス賞／手回し発電機10個セット　長岡京市立長岡第三小学校
ホリモク賞／京都府産ヒノキ製おんだんかぼうしどうぶつしょうぎ10個セット　大山崎町立大山崎小学校

児童・保護者の声

今年度は「選んでチャレンジ」を新たに設け、温暖化防止につながる下記の8つの取組の中から3つを選んで実践してもらいました。そこで、児童や保護者の「選んでチャレンジをやってわかったこと」、「省エネチャレンジ全体の感想」欄から一部をご紹介します。

選んでチャレンジ

このうちの3つを選択

1. 石炭や石油を使わなくてすむ暮らしや街ってどんなのか調べたり、想像したりして絵に描いてみよう。
2. あなたの住む地域にある、太陽熱温水器、太陽光発電パネル、薪ストーブを探してみよう。
3. お店に行って、京都府産の食べ物を探そう。できれば買ってみよう。
4. 家族そろって、早めに寝よう。
5. 検針票などを見て、おうちの1年間の電気代やガス代を調べてみよう。
6. すだれ、シェード、緑のカーテンなどを使って、窓の外で日ざしをさえぎろう。
7. 近いところへは歩いていくか、自転車で行く。自動車に乗るときは「エコドライブ」を合言葉に。
8. 1日にどのくらい電気を使っているか電力メーターを見て調べてみよう。

児童

電気と水道を使うとお金がかかることを知った。（1年生）

わたしも太陽光発電が家にあって欲しいです。（2年生）

家族で早く寝たら電気がむだ使いにもならないし、生活のためにも電気がかからないし、元気になって健康にもとてもいいです。（2年生）

1年間の電気代は自分のおこづかいの26倍でした。めっちゃ高いので少なく使うようにしたいです。（2年生）

地球にやさしいエネルギーをもっと探したい。（3年生）

わたしがお父さんに「エコドライブだよ」と言ったら気を付けてくれました。（3年生）

すだれがあるときとないときでは室温がちがうのがわかった。（4年生）

歩くとエコになって家族で話したり虫をつかまえることができて、家族のコミュニケーションがとれるのでこれからも続けたいです。（5年生）

近所を見てまわったら新築の家は最初から太陽光パネルをつけている家が多く、空き地には太陽光パネルが多数設置されていた。（5年生）

京都の人たちだけではなく、世界中の人たちにも省エネをやってもらいたいです。（5年生）

私の家は車がないのでエコだと思いました。将来は太陽光発電で動く車がほしいです。（5年生）

おじいちゃんがつくってる野菜をもらった方が二酸化炭素が多く出ないで、温暖化防止につながることがわかった。（6年生）

保護者

自宅に太陽光をのせたきっかけが、子ども達が環境について考えてほしいという思いをこめてだったので、早速活用できて嬉しく思っています。

電気のメーターは見たことがなかったので、毎日チェックすることが楽しかったようです。使っている量などがわかってよかったです。これから節電を心がけるように生活をしていきたいと思いました。

親に言われている時と自分で取り組むのでは意識の持ち方が違ったようで良かったです。

夏休みの家族行事の一つになっています。

翌朝に色を塗るようにしていたので、朝になると「昨日どうやった？ちゃんとできた？」と楽しそうに色をぬっていました。

エコすることによって自分達が住んでいる地球がどれだけ守れるかを知り、子ども達や家族の省エネに対する意識が高まった一週間でした。これからも続けたいです。

第8期　地球温暖化防止活動推進員 府内各地で活躍中！

紹介する人
森脇 浩さん
（舞鶴市）

今回は、京都府地球温暖化防止活動推進員でもあり、地球温暖化対策地域協議会「まいづる環境市民会議」の地球温暖化防止プロジェクトリーダーでもある森脇浩さんをご紹介します。

「温暖化防止活動を始めたのはなぜですか？」森脇さんにお聞きすると、「これまでの人生で化石燃料を大量に使ってきましたからね。せめて退職後には環境保全の活動をやってみたいと思い、まいづる環境市民会議に参加するようになったのですよ」という答えが返ってきました。自衛隊で空を飛びまわっておられたという森脇さん。飛行時間は1万2千時間、燃料をざっくり計算すると675万ℓとなり、15km/ℓのエコディーゼル車で月と地球を130往復以上できることになる、とはご自身の試算。「スクランブル出動の時には、『エコドライブ』なんて言ってられませんから！」と笑います。

退職後にご実家のある舞鶴に戻ってこられ、環境活動を開始するとともに、自宅のDIYによるエコ改修に取り組まれたとのこと。薪ボイラーを導入し、これを使った床暖房を設置されたのですが、その配管やら放熱パネルやらは、ホームセンターや通販サイトで材料を買ってきて自作し施工されたそうです。「薪ボイラーを見た友人には『焼却炉か！』なんて笑われますけどね。薪ストーブも導入しましたし、今後はペレットストーブも試してみたいとおもっているんですよ」と築100年以上の古民家で、自然の恵みである木質バイオマスをフル活用した暮らしを満喫されているようです。

まいづる環境市民会議では、同会議主催の自然観察会でネイチャーガイドとして地域の子どもたちに舞鶴の自然の豊かさと大切さを伝えたり、同会議と市役所との連携で「まいづる環境フェスタ2017」を主催したりと（※関連記事P.3）、幅広い活動を実施されています。まいづる環境フェスタ2017には少なくとも2万人が参加、フェスタの一環で開催した「かえっこバザール」には、小学生など700名が参加し、会場は大賑わいでした。

環境省の「地球温暖化防止コミュニケーター」にも登録されている森脇さん。最近は、まいづる環境市民会議の事業として、市内の高校で出前授業を行いました。温暖化のメカニズム説明した動画など、地球温暖化防止コミュニケーターのプレゼンツールをフル活用して話をしました。「事前に高校生からはっと考えさせられるような難しい質問が届きましてね。がんばって調べて授業に臨みました。自分にとっての良い勉強になっています」と語ってくださいました。

日本の安全を守る仕事から、地球の安全を守る活動へ。立場を変えながらも、森脇さんの前向きな取組は続いていきます。

森脇さん宅の薪ストーブ

舞鶴市内の高校で温暖化の話をする森脇さん

report 1 テーマは「省エネで暮らしを豊かに、地域を豊かに！　健康長寿で温暖化防止」第3回京都府地球温暖化防止活動推進員研修を実施しました。

今年度3回目の推進員研修を10/1に実施し、約60名の参加がありました。今回は、近畿大学の岩前篤教授をお迎えして、住環境と健康の相関性、省エネで暖かい住まいが寿命も延ばし、地球温暖化防止にも繋がることなど学びました。岩前先生の具体的なデータも交えたお話には「目からうろこ」のものがたくさんあり、参加された推進員からは「次の省エネ相談所でぜひ伝えていきたい」、「広報誌などに積極的に記事にしていろんな人に知ってもらいたい」との声もありました。

※10/22北部会場の研修は、台風21号接近のため、中止となりました。

report 2 京都再エネコンシェルジュ見学会 -木のエネルギー地産地消を丸ごと見学-

11/16、住まいの再エネを提案する京都再エネコンシェルジュ向けに、京都市京北町で木質バイオマスの見学会を実施しました（京都府主催、当センター事務局）。

参加者は、ペレット工場見学の後、薪ストーブやボイラーを実際に使っている人の家を訪れ、最後に行政及び専門家のミニ講義を受講しました。

「ペレット工場ができてから間伐材などを遠くに安く売りに行くことなく、近くで高く売ることができるようになった」「すぐそばにある針葉樹を有効に使わないのはもったいないから使っている」など生の声を見学先から聞き、活発な質問が出ました。参加者からは「近くの山の木が、ペレットなどの燃料になり、実際に使われているところまで見ることができ、よかった」などの感想がありました。

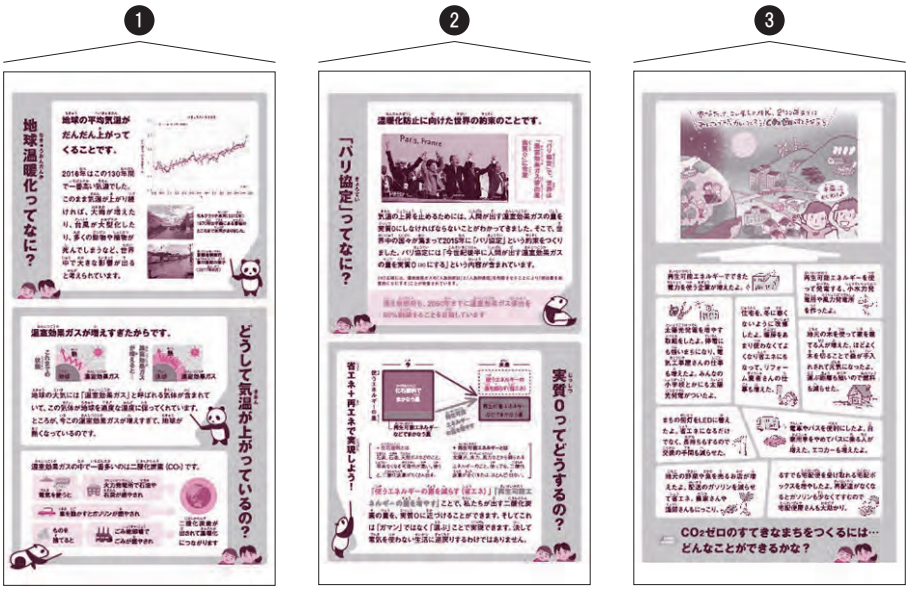
report 3 京都環境フェスティバル2017にブース出展しました！

12/9（土）、10（日）に、京都市伏見区のパルスプラザにて、京都環境フェスティバルが開催されました。当センターのブースでは、次の3つを展開しました。まず、毎年恒例の夏休み省エネチャレンジ紹介コーナー。今年度の参加状況や子どもたちの感想などを展示しました。次に、家電の使用状況に関するアンケートを実施。適切な買い替え時期や省エネ性能の確認についてをPRし、買い替え体験談の資料をお渡ししました。また、子ども向けに楽しく「的当て」をしながら、京都府の「環境にいいことしています」というWE DO KYOTO！をPRし、宣言を集めました。当日は、わいわい賑やかにたくさんの方にご参加いただきました。

また、恒例の省エネ相談所も実施しました。今回は、相談を受けられるお客さまのイスに断熱マットを敷き、銀マットを付けたひざ掛けを用意。プチ断熱体験をしていただいたところ、「温かいですね」と好評でした（表紙写真参照）。2日間で合わせて209名の方にご参加頂きました。

\ new /

新しい掛け軸型展示ができました！貸出できます。



温暖化入門掛け軸型展示（布製）

縦155センチ、幅80センチの掛け軸型（布製）の展示物です。巻いて運べるので便利です。

❶❷❸　子ども向け　３枚

❹❺　温室効果ガス排出が大幅削減された将来（イメージ）　２枚

他にも貸出できる環境学習教材があります。詳しくは当センターのホームページ、または電話でお問い合わせください。

ぜひご活用ください。

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

（平成 30 年新春号　平成 30 年 1 月発行（年 4 回発行））

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター
（特定非営利活動法人　京都地球温暖化防止府民会議）
理事長：郡嶌 孝
〒 604-8417　京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3
TEL：075-803-1128　FAX：075-803-1130
URL：http://www.kcfca.or.jp　E-mail：center@kcfca.or.jp
Facebook：https://www.facebook.com/kcfca

編集：木原浩貴　川手光春　西澤浩美　浅井薫　三枝剛　河田理恵子
根木よしみ　根岸哲生

法人の活動を支えてくださる会員を募集しています！
年度会費　正会員（個人）：2,000 円　正会員（団体）：3,000 円
準会員（個人）：2,000 円　準会員（団体）：3,000 円
賛助会員：10,000 円
詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

この印刷物は、古紙配合率 70%の再生紙に、植物油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。